

## 雜錄

### ●支那鐵鑛山及製鐵業狀況

在上海商務官橫竹平太郎

#### 一、概要

支那は各省到處鐵鑛石を産せざる處なく就中滿洲山東山西湖北安徽福建等に於て最も多く往時より各地に製鐵を見たり故に支那國中製鐵冶金に因る地名渺からず、現に湖廣總督張之洞が管内の鐵山を調査せしむるに當りても大治なる地名を見て古昔此地方に大鐵冶屋ありたるものなるべき想像し同地方を探査せしるに鞍山站の鐵鑛石よりも含分多き銑鐵の殘滓を發見せるに力を得て探索の上遂に今日の大鐵山を見たるものなりと云ふ。

支那固有の製鐵は其起原頗る古きが如く神農氏時代既に鐵を以て斧を鑄たりと云ふ。現在湖北直隸滿洲山西浙江其他に於て昔時盛なりしと想はるゝ製鐵工業の痕跡を見るのみならず現に支那固有の方法に依り製造、從事するもの少からず、然れども輸入鐵類の競爭に耐へず漸次衰微の傾向あり其製法も亦規模小にして見るべきもの少し、唯山西の產額は頗る巨額に上り全支の釜鍋等は同地より供給せられつゝある狀態なり。

支那に於ける洋式製鐵事業は光緒十七年（明治二十四年）湖廣總督張之洞が

#### 鐵類輸出表

種別	一九一七年		一九一八年		一九一九年		一九二〇年		一九二一年	
	數量	價額								
棒鐵短棒釘鐵	八	三七	六一	一九四	二五	三	二五	八〇	三三	三二
鍋鐵	二一	一一六	一六	九四	二四	一三四	二八	一五四	一九〇	一九〇
鐵板及薄板	一四	四六	二五	八一	一五	四六	三二	一〇〇	一	七
レール	一六	四八	三八	一〇七	一	一	一	一	二	二
其他鐵製品	二三〇	七九八	二〇八	六七八	二五	一四五	一	一三〇	四六一	二六
										一六九

漢陽に工場を設置し大治の鐵鑛を以て製鐵に從事したるを嚆矢とす、是我國と密接なる關係を有するに至れる漢冶萍煤鐵公司の前身なり其後久しく他に製鐵事業興らざりしが、光緒三十四年漢口に揚子機器廠の設立を見、滿洲に於ては明治四十四年日支合辦の下に本溪湖煤鐵公司の計畫始まり、大正四年には之が完成を見次で大正五年滿鐵の鞍山製鐵所を興すに至れり、以上は支那に於ける四大製鐵所にして尙將來の計畫又は進捗中のものに大治龍煙秦皇島等あり。

斯の如く支那に於ては新式製鐵業も漸次勃興の氣運に向ひつゝあれども其大部分は銑鐵の製出に止り、其他の製品を出す事少く、之等銑鐵は一部國內鐵材料となす外大部分は日本向輸出されつゝあり。

今鐵類の支那に於ける輸出入を見るに輸出に於ては鐵鑛石銑鐵は漸増の傾向に在れども鐵類は寧ろ減退しつゝあり、輸入は何れも増加し殊に鋼鐵を除きたる其他の鐵類は何れも激増し一九二一年度の輸入高は一九一六年度に倍加したり。

一九二一年に於ては銑鐵及鐵類輸出高は二百七十一萬噸五百七十九噸萬兩にして鐵鑛石の百五十一萬兩を加算するも尙七百三十萬兩に過ぎず、一方同年に於ける輸入高は鐵類二千七百二十八萬兩古鐵亞鉛引板線鐵製品銑鐵板千十萬兩鋼鐵百三十二萬兩合計三千八百七十萬兩の巨額に達し差引三千百四十萬兩の輸入超過なり。

輸入鐵類の中價額に於ては軌條の七百二十九萬兩を第一位とし全輸入額の一割九分を占む、銑力板は第二位にして五百五十三萬兩一割五分弱第三位は棒鐵にして四百二十二萬兩一割一分にしてパイプ及チュー・ブ薄板釘リベット亞鉛引板等順次之に次ぐ。（單位數量千擔價額千兩）

合其日朝總其漢長膠天牛大安地總其米日朝香地合  
輸出輸出

計 計 他 國 本 鮮 本 他 他 計

銑鐵類輸出國別表

鐵類輸出國別表		一九二一年		一九二〇年		一九一九年		一九一八年		一九一七年	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
二、三四七	五、一三〇	二、七五五	一六、五四八	二、七〇〇	八、一四二	二、九一六	六、七三九	三、四七五	四、八二五	一〇	一一〇
五、九	九八	一三	一五	一	一	一一〇	四二三	八一	六二六	二	二
二	一二	六	三三	一	七	一六	六〇	一〇	四五	一九	一九
二、四三三	五、二八九	二、八〇五	一六、七三一	二、七一〇	八、一七五	三、〇六五	七、二八四	二、六四八	五、三八七	一九	一九

銑鐵類輸出港別表

鐵鑛輸出表

年	數量	價額	一九一七年		一九一八年		一九一九年		一九二〇年		一九二一年	
			一	二	六〇	三三	二四八	八七	六九六	一四四	六七八	一三五
五、一二三	一、〇一六	六、二〇一	一、三三六	一〇、三四一	三、三二六	一〇、五六六	二、四六八	七、八三九	一、三七五			
五、一二三	一、〇一八	六、二六一	一、三六〇	一〇、五八九	二、四〇三	一、二、二九二	二、六一二	八、五一七	一、五一一			

五  
一

鋼鐵輸入表

二、鐵鑛產地

支那に於ける主なる鐵鑛產地を擧ぐれば左の如し。

**直隸省** 鞍子嶺、大峪椎山（密雲縣）磁州鼓城鎮、西北大峪村西、黑石（廣平縣）新窯堡山（龍門縣）夾壁山（遷安縣）

**山西省** 小竹山（博山縣）馬山、裴家山（長山縣）東南鄉（新城縣）  
楊樹溝、王家莊、梨林頭、平潭河床、五渡、揚家莊、平潭嶺（平定縣）  
西沿石（大同府）東溝、長嶺村（樂平縣南流、清城鎮、蘆河溝（孟縣）河底、

陝西省 南山（長安縣）其他

忠凹、砂崖（孝義縣）北波底、羅家河（鄉寧縣）上莊、盤抑凹（隰州）五台山（五臺縣）百曲兒里、內溝里、白鐵村（趙城縣）松莊村、大陽鎮、土山村（鳳臺縣）墮拉齋（歸綏道）

(鳳臺縣)薩拉齊(歸綏道)

**江蘇省** 林陵關鳳凰山(江寧縣)冶山(六合縣)楊家村(江浦縣)鐵岡頭、馬鞍山、先頭山、曹王山、中德古山、西德古山、响水凹(丹徒縣)據唐志(溧陽縣)虞山(常熟縣)許巷山、西山(靖江縣)利縣驛、北山、揚貴山、西馬山、銅山、盤馬山、賈家、汪家、彭城(銅山縣)

**浙江省** 任家山(寧海縣)西疊石(臨海縣)東鄉李嶺山(東陽縣)西鄉西山、南山(西安縣)大溪山、北鄉六都墩(開化縣)北鄉斜崗(常山縣)東宮山、西小洋莊鐵縣塢(建德縣)南鄉二十九都二圖羅山(富安縣)東鄉、虎山、却金山、(麗水縣)東鄉双山、(青田縣)樊莊(縉雲縣)南溪(樂清縣)

**安徽省** 大湖山(大湖縣)西北鄉各山(潛山縣)曉天山(舒城縣)西鄉(霍山縣)西鄉、桃沖(繁昌縣)天長山、冶山、大小弧山、釣魚山、鐘山、南山(當塗縣)銅官山(銅陵縣)冶山(天長縣)

**江西省** 三官塞(崇仁縣)尖尺(橫峰縣)源申村、沙區(泰和縣)燕陂鑽、佛嶺山、銀石凹、石岡、茶山、杉坡裏、銀鋼坡、大窩嶺(新喻縣)橫港極(新塗縣)桐木山(春宜縣)大西路上珠嶺、南路、小水黃家源小坑裏南路灣田、大嶺背、劉公廟、上沫嶺(萍鄉縣)萬松山(贛縣)管架龍、鷺嶺牌、石頭、溫坊、河背村(寧都縣)城門山(九江縣)陳家山(瑞昌縣)

**湖北省** 富貴山(武昌縣)縣城外、廣山、馬鞍山、銀山頭(鄂城縣)衆鼻山、老鼠山、嚴鮑地、尖兒山、尖山腳、余家山、獅子山、野龜坪、龍洞、紗帽翅、大治廟、鐵門山(大治縣)鸚籠山(陽新縣)大同鄉(蒲圻縣)樊山(黃岡縣)大伏冲(蘄春縣)黃嶺、東鄉滴水寺(京山縣)南鄉(南鄉縣)大山坡、七尖峰(棗陽縣)洞青溝、(鄖縣)七里壠、龔家旁、(松滋縣)東鄉(長陽縣)揚崗、張家坪、馬阿坝(咸豐縣)應山、苦漕洞、古院手、袁蓬(恩施縣)鑽蘭灣(鵝峰縣)

**湖南省** 鬼子嶺(漸浦縣)吉星堆(晃縣)栗山牌、廖家坪(安化縣)獅子山六家冲(新化縣)人里滴水村(益陽縣)豐樂塘(湘鄉縣)大馬蹄山、湖璉嶺(寧鄉縣)鐵山(收縣)猺山烏金坪(常寧縣)沈斗冲、大保山(來陽縣)雷鉢嶺大斗灣、楓林洞(衡山縣)推子嶺、金獅嶺、東冲(郴縣)弧坪廠、黃毛崗、石腦山(桂陽縣)東鎮炭坡嶺(巴陵縣)盧家坡、丁家坡(臨湘縣)

**廣東省** 北方良口(從化縣)寶山(東莞縣)波髻嶺(英德縣)沿坑山(陽山縣)桂陽縣、連山(連山縣)寶山潭(紫金縣)東石鄉鳳髻山(平遠縣)官田鐵山潭、石馬墟(興寧縣)石正墟(梅縣)鐵坑山、芙蓉(陽春縣)梅峒山(陽江縣)八角灣、黃茅嶺、王官山、牛輶嶺(鈎縣)堵崙(建甌縣)

**廣西省** 不明

**貴州省** 平黃山(獨山縣)東鄉龍塘山(思縣)其他

**雲南省** 邵官屯廠、迷參箐、八街、河底村、七凸山(安寧縣)牛脚跡山、冷水箐(昆明縣)演地(昆明縣)祿表地(祿豐縣)石將軍山、(晉寧縣)山後廠、岔拉、羅納、摩樓黑、老魯關、水唱廠、紅石岩、榮里廠、野馬廠、他達廠(晉城縣)鐵箐溝、双箐(尋甸縣)西北兩鄉、磁山大阿金(羅平縣)兩錄鐵廠、黃梨樹、火紅、頭道河、大水塘(會澤縣)巧家廠、岩埢、冷坦溝(巧家縣)硯山、鑛山廠、麒麟廠、岔河、苞谷箐、興發廠(東川縣)長發洞(昭通縣)樂馬廠、大佛山、龍頭山(晉甸縣)大樹成(河陽縣)木梳灣、龍街、銀爐河填、洗沙河、如扯、中明子、新場、龍海、小河溝、大橋擔子、粉壁岩、寶龍廠、大河埢、老鷹岩、廣東廠(彝良縣)小朱地、大木坪板橋、七道河、大灣、灰路、麻窩、瓦橋、矛黃樓、林口、馬蠻溝、鐵廠溝、黃連溝、新分、唐家溝、身挨排、豆戛寨、大坪子、三發貞、母膏、苗子橋、布之埢、三鍋庄、田灣、口袋溝、安尾埢、札石溝、宗家坳、放椒埢、天地、天棚寨(鎮雄縣)大灣山、石膏玉、羊舊河(牟定縣)象山廠(迷水縣)個舊龍樹腳(蒙自縣)白牛廠、火山、寶地、達銀礦(馬關縣)馬鞍山、松了塘(普洱縣)阿幸屯、沙喇箐、水箐、鎮灘隘(騰衝縣)漾濞、東山、四甲(永平後聚溝、前聚溝、山後壩、段家溝、水碾河、楊柳店、黃泥壁、泗坪場、林口、

縣)東山、官乃山、大田埜(保山縣)遍山、揚武埜、憂酒埜(師宗縣)魯魁山廠

(新平縣)榮里廠(雲龍縣)三北斧龍陵縣)鐵廠窯(雲南縣)捨茶寺(鶴慶縣)麻栗

箐(劍川縣)永寧鄉、臘梅庄、河雄鄉(鎮南縣)塔底(大姚縣)阿維山(雲縣)

大安廠、平坡廠、陳家爐廠、黃竹林廠、大河邊、九道河廠、袁家爐臘、立貴

廠(順寧縣)

滿蒙 東鞍山、西鞍山、櫻桃園、大孤山、玉家堡子、關門山、小且山、小嶺

子、鐵石山、白家堡子、新關門山、(以上鞍山鐵鑛)梨樹溝、臥龍村、馬鹿溝、

駱駝背子、王子崗、青山背(本溪縣)歪頭山、載金峪(瀋陽縣)八盤嶺、大河沿

(遼陽縣)通遠堡鐵鑛(鳳城縣)——以上本溪湖鐵鑛、蘇家堡子、茨兒溝、楊木溝、

中山後臺溝、弓長嶺、黃泥溝、金家堡子、——以上弓長嶺鐵鑛、鞍子河(海龍

縣)七道溝(通化縣)弟兄山(鳳城縣)葦子峪(興京縣)城廠附近(本溪縣)鑛洞子

(盤石縣下)化皮峪 水築箕溝子、孟家溝子、青山背(本溪縣)大荒溝(寬甸縣)

三道溝、東山大股嶺、弓張嶺北山、阿家堡子(遼陽縣)五湖嘴、丁字屯、斐家

屯、羅家屯、李家屯(復縣)

### 三、鐵鑛及銑鐵生產狀況

支那に於ける新式製鐵所は本溪湖、鞍山、漢陽、萍陽子の四工場なり、今右  
製鐵所の事情に付記述すべし。

#### 本溪湖煤鐵公司

本製鐵所は日本支合辦會社にして明治四十三年の開辦に懸り明治四十四年十  
月製鐵事業に關する正式契約の締結を告げ爾來資本金を四百萬圓に增加し後更  
に三百萬圓を加へて現に七百萬圓を以て同公司所有の本溪湖炭坑及廟兒溝鐵山  
を根據として製鐵事業を營みつゝあり。

#### 工場設備及製銑量

熔鑛爐 第一基熔鑛爐 容積二百九十一立方米生産能力一晝夜約百三十噸

第二基熔鑛爐 容積三百二立方米生産能力一晝夜約百十噸

捲揚機 高さ百六十呎 獨逸ボーリッヒ式自動インクラインドホイスト

瓦斯洗滌器 高さ八十三呎 徑十五呎内部は木製ハーダル装置イリノイス社製ア  
ラーサート式

瓦斯乾燥器 長さ二十呎 徑十二呎內部同前

熱風爐 第一基三本 第二基四本マックルアーワー式三重煙道

送風機 獨逸A・E・G會社ターボブローバー三基

小熔鑛爐 容積十六立方米生產能力二十噸ニ基捲揚裝置ニ組熟風爐八箇送風機等  
の設備あり。

製銑量 大正五年より九年に至る製銑高左の如し。

大正五年 四九、二一一 同 八年 不詳

同 六年 三七、九七一 同 九年 八二、二九六

同 七年 四四、九九二

廟兒溝鐵山 廟兒溝鐵山は本溪湖煤鐵公司の經營する製鐵所の原料鐵鑛を供給す  
る鐵山なり、本鐵山は道光十三年初て開掘され以來種々變遷を見今日に及ベリ、  
本鐵床區域は頗る廣く走向南北に亘り延長約二萬四千尺に達す、含鐵量は大部  
分三十乃至四十%の貧鑛にして所々に六十乃至七十%の富鑛を存在するに過ぎ  
ず埋藏量は八千萬噸乃至九千萬噸と稱せらる。

採鑛高 大正九年中廟兒溝鐵山に於て採掘したる鑛量を示せば左の如し。

富 鑛 塊 富 鑛 粉 合 計

七八、二八七噸 一二、〇四九噸 九〇、三三六噸

採掘及運搬 富鑛の採掘は鐵山の最高頂露頭より直立四百二十尺を降れる山  
腹(海拔二千四百尺鐵山麓輕便鐵道積込場より直立千三百二十尺)に一番より  
四番に至る水平坑道を設け坑道掘を爲しつゝあり、鐵鑛の運搬は採掘場より山  
麓迄約一哩自動エンドレスロープ捲機械に依り運搬し鐵山下にて輕便貨車に積  
替運鐵場及南攻驛滿鐵貨車積替棧橋に運搬すエンドレスロープ捲機械の鑛車は  
木製一噸入にして一時間六十噸の運搬力を有す。

最近事情 以上の如く本溪湖煤鐵公司は新式設備を有するのみならず製鐵の  
原料たる鐵石、鞍炭、石灰石等何れも豐富にして近接地に於て之を得られ製鐵上極  
めて有利の位置を占め歐戰に當りては鐵價の昂騰と共に殷賑を極めたりしが大  
戰終戦し米國は鐵の輸出解禁を行ふに至り鐵價暴落し同公司に於ては採算不引  
合に陥り大正八年より十年九月に涉り四回の事業縮少を斷行し熔鑛爐は全く消  
火するに至れり。

然るに本年二月に至りルール問題に依り鐵價昂騰し今後の曙光見へたれば本  
製鐵所に於ては日產百二十噸熔鑛爐の火入を爲すに至れり。

#### 鞍山製鐵所

るものゝ如く口碑にも傳へられず然るに明治四十二年に至り満鐵調査課に於て之に屑鐵を加へて年產額八十萬噸の鋼鐵を製出する目的を以て三千八百萬圓の巨資を投じ大正五年十二月事業に着手せり然るに第一期事業中歐洲戰亂終熄し四圍の狀況に一大急變を齎したる爲製鋼工場の建設は當分延期する事となり爾餘の工業は着々進行し大正九年には略々全施設の落成を見たり大正十一年度に於ける製鐵所施設の概要左の如し。

骸炭製造設備 洗炭工場 一箇所洗炭能力一時間五十噸、骸炭爐 蓄熱室付一基  
四十窯宛四基能力各一日百三十噸、副產物工場 二箇所、硫安工場銅津工場、熔鋼爐 二基、內容積 五百二十八立方米突一日出銑能力各二百五十噸、捲揚機二基、高さ五十七米突百二十馬力、熱風爐 三通式八基、高さ六十米突六直徑七米突三、但し四基を以て一組（内一基豫備）とし各基交互に使用す、瓦斯清淨機室 一箇所、清淨機四基各每分四百五十立方米突、送風機室 一箇所、  
スチームピストンプロワー二基、能力各一分間七百立方米突、壓力每平方呎六  
頓即ち八封度スチームターボプロワー一基、能力一分間八百立方米突、壓力每  
平方呎八磅即ち十二封度、汽罐室 一箇所、汽罐はガルベ水管式にして傳熱面  
積三百五十平方米突のもの四基及同式傳熱面積三百二十五平方米突のもの四基  
を有す、發電所 一箇所、ウエスチングハウスマ製發電機二基各三千キロワット  
外にブラウンボベリー社製一萬キロワット發電機一基。  
水道設備 首山水源池 湧水三箇所 千山川水源地 聚水井四箇所 孟家配水池  
貯水池 一箇所。  
鞍山の鐵鑄埋藏量を鑄山別に示せば左の如し。

鑄山名	地表上(尺)	推定鑄量(萬噸)	鑄質
東鞍山	九八五	六、六〇〇	赤鐵鑄、褐鐵鑄
西鞍山	七五五	二、八〇〇	同
大孤山	六八〇	四、八〇〇	鑄磁鐵
五家堡子	同	二、八〇〇	赤鐵鑄
	六三〇		

關門山	八〇〇	一、四〇〇	同	褐鐵鑄
鐵戶山	二二五	二〇	同	赤鐵鋼
小嶺子	三二〇	一六〇	同	
計		二一、三八〇		
鐵鑄石採掘高(單位噸)				
自大正八年四月 至大正九年三月	一六五、五八二			
自大正九年四月 至大正十年三月	一五四、四二七			
自大正十年四月 至同	一三四、七三五			
製銑量 大正八年四月末作業を開始したる當時は一日約百噸餘なりしも其後漸次増加し日下一日二百噸餘の生産を見るに至れり創業以來大正十年三月に至る製銑量を示せば左の如し。(單位英噸)				
自大正八年四月	一號銑鐵	荒銑鐵	屑銑	計
至大正九年三月	二八、六七四	二、九四六	一	三一、六二〇
自大正九年四月	六五、八〇四	九、〇九一	三七八	七五、二七三
至大正十年三月				

### 漢陽鐵廠

漢陽鐵廠は東亞に於ける製鐵事業の巨擘にして前清朝湖廣總督張之洞監督の下に一八九〇年設立の運に至れり、其後同廠は財政窮乏し經費を支辨すべき途なきに至り張之洞は盛宣懷と協商の結果六百萬兩を盛氏より出さしめ大冶鐵山及萍鄉炭坑と共に之を同氏に譲渡せり、是即ち一八九六年にして一九〇八年漢治萍公司に合併せり、爾來支那に於ける鐵の需要増加し從つて同事業も漸く發展したりしが一九一一年辛亥革命起り武漢の地兵火の巷となりしかば作業を續行する能はず且機械其他破壊せられ非常の困難に陥りしが復舊工事に着手し一九一二年十二月修理を了し作業を開始し今日に至れり同廠の內容左の如し。

熔鑄爐 第一第二號爐 容積二百四十八立方米  
銑能力九十噸乃至百三十噸 第三第四號爐 一日出銑

能力二百三十噸乃至二百五十噸

熱風爐 ラパー氏式四基

除機 第一第二號爐に一箇第三第四號爐には各一箇

洗機 第三第四號爐に一基

送風機 第一第二には蒸氣橫式壓風機一臺及蒸氣直立式壓風機三臺第三第四號

ターボブローア式三臺

銑鐵生產の現狀 目下二百噸爐二基を使用し一基はベーシック一基はファウン

ダリー製銑中にて生産高一日三百五十噸乃至四百噸に上る本年豫定出銑額は約二萬噸なり。

#### 製銑量 (單位噸)

一九一二年	八、七四八	一九一五年	一三六、五三一
一九一三年	九七、六三二	一九一六年	一四九、九二九
一九一四年	一三〇、八四六	一九一七年	一四九、七五四
一九一八年	一三六、一五二	一九二〇年	一二四、三一〇
一九一九年	一八六、二一五	一九二一年	一二六、四五五

漢陽鐵廠在荷 (大正十二年二月二十六日)

一號 八、〇〇〇

二號 二、五〇〇

鑛石

一三、〇〇〇

四號 三〇〇

五號

#### 大冶鐵廠

大治鐵山 とは產鐵地たる鐵山舗及獅子山等の總稱にして黃石港の下流二哩なる石灰窯の西方に位し大治縣に屬す縣内は陵起伏し鐵石灰銅等の鑛石を出す處多し。

大治の地は唐宋の時爐を設けて鑛鍊せりと傳へらる其後絶へて採鑛せられざりしが前清朝光緒十六年時の湖廣總督張之洞は原料鑛石を得んが爲長江一帶調査に從事し遂に當鐵山を發見するに至れり之より機械材料を獨逸より購入し鐵山より

江岸に至る鐵道を敷設し鐵山探掘を開始し後漢陽に製鐵廠を設けて製鐵するに至れり、其後漢陽鐵廠及萍鄉炭坑と共に一八九六年盛宣懷の所有に歸し越えて一九年株式會社漢臺萍煤鐵公司の經營する處となれり、昨年に至り大治鐵廠を設立し四百五十噸爐二基を据付内一基は昨年六月末火入れを爲したるも其結果不良にして以來修理中なり大治鐵山の現狀を示せば左の如し。

可採鑛石數量 約六千萬噸 (雌雄兩獅子山及鐵山)

現在採掘數量 一箇間四十萬噸

鑛石販賣先 漢治萍公司自用及八幡製鐵所

品 値 段 大正十一年度分噸金三圓五十錢替

搬出設備 鐵道(約十五哩)機關車十臺内三臺新式大型貨車二百臺(新

型六十臺+一臺六十噸積)(舊型百四十臺一臺十五噸乃至二十噸積)(山許トロツク千二百臺+一臺一噸積(獅子山七百臺)(鐵山五百臺)一日最大輸鐵

能力約六千噸と稱す。

#### 揚子機器廠

本廠は漢口謀家礦に在り光緒三十四年資本金四十萬兩の株式組織を以て設立せられたるものなり、本廠は製銑の外各種機械類船舶等の製造をも爲す。

揚子機器廠銑鐵製產の現狀 昨年來同廠は財政の逼迫を受け久しく休業中なりしが此處三箇月前頃より漸く復活し百噸爐一基作業中に一日の生産高九十噸内外なり、然れども同廠にては經濟界不況の爲借款問題も思はしく進行せず此儘に推移せば或は中止の已むなきに至るや計り難しと云ふ。

同廠は未だ設備中なり四百五十噸熔鑛爐二基を有す内一基は昨年六月末火入れを爲したるも其結果良好ならず以來修理中なりが本年四月四日一基の火入れを爲せりと云ふも其の結果判明せず。

#### 揚子江岸に於ける其他の鐵鑛山

象鼻山は大治獅子山と鐵山との中間に位し高さ約三百五十呎延長約千三百呎を有す。

現在採掘數量 民國八年採掘に着手し鑛夫三百人乃至五百人を使役せり(四段階段掘方法に依る)一箇年約三十萬噸採掘可能の設備を有すと稱す、現在一日平均三四百噸見當

鑛石販賣先 過去(漢治萍公司揚子機器廠兼二浦製鐵所)  
現在(北海道輪西製鐵所へ供給中)將來(八幡製鐵所へも供給さるべし)

€6

支那鐵鑛の分析表を示せば左の如し但し鑛石は時に依り成分一様ならず左表は最近のものなり。

## 五、長江沿岸鑄石及鍛鐵の取扱事情

長江沿岸に於て目下採掘せられつゝある鐵鑛山は何れも近距離にして是等鑛山の中大治鐵山象鼻山及桃沖鐵山は各自所有の鐵道に依り夫々江岸に運送しつゝあるが其の他は皆トロツクを以て鑛石を運送す各鑛山積出地は左の如し。

六、上海鐵鑛及銑鐵取扱商  
鑛山名 積出地 鑛 積出地  
とも其の他は皆トロツクを以て鑛石を運送す各鑛山積出地は左の如し。

## 六、上海鐵鑛及銑鐵取扱商

江岸に運送せられたる鑛石はバスケットを以て苦力本船に搬入す鑛石運送船は  
大治 石灰(湖北) 象鼻山 沈家營(同)  
米石礦(安徽) 桃沖 萩港(同)  
支那商 培昌、可熾、老順記、唐曾記。  
邦商 三井洋行三菱公司東亞通商株式會社高田商會中日實業有限公司鈴木洋行  
**七、結論**

上海に寄港せず一路日本向直行す。

銑鐵は漢陽銑及揚子銑のみにして是等の契約は日本シ・アイ・エフ最多く又時

には江岸渡とする事もあり銑鐵は大部分日本向にして時に依りては上海向輸送す  
漢陽煤鐵公司は上海港に自己所有の碼頭ありて此處に載積す而して右の如く上海  
に在荷を有する場合には上海碼頭渡として契約せらる上海に於ける支那唯一輸入

商として培昌號あり。

支那鐵工場用としては同號が一手に供給しつゝあり然るに現下二鐵公司共財政困難なる爲契約に當り約七掛の前渡金を要求しつゝあれば危險を慮り最近同號の

我國に於ける工業獨立の見地より論するときは鐵鑛產出額の僅少なる事實は洵に國家生存上の深憂にして安全なる鐵鑛供給地を求むるは邦家將來の爲絶體必要と爲す處なり、然るに隣邦支那は鐵の埋藏豊富にして全國到處鑛山散在し現在土法及新式法に依り採掘せられつゝあるもの極めて多く未だ採掘せられざるものも相當の數に達すべし。

今支那に於ける製鐵及採鑛の現狀を見るに主要鑛山及製鐵所共に全部我隣接區域内に在るは兩國の爲頗る利益なり即ち揚子江岸に於ける最重要なる大冶鐵山は明治三十三年以來次第に我國と密接を加へ漢治萍公司の借款に應ずる事三千萬圓

七、結論

契約せるを聞かず戰時好況時代に於ては上海に於ける在荷を見たれば各邦商の日本輸出を試みたるものありしが目下前記の如く鐵廠財政の困難に依り前渡金を要する故一般邦商の取扱を爲すものなく唯三井洋行三菱公司が時々契約しつゝあり

我國に於ける工業獨立の見地より論ずるときは鐵鑛產出額の僅少なる事實は洵に國家生存上の深憂にして安全なる鐵鑛供給地を求むるは邦家將來の爲絶體必要と爲す處なり、然るに隣邦支那は鐵の埋藏豊富にして全國到處鑛山散在し現在土法及新式法に依り採掘せられつゝあるもの極めて多く未だ採掘せられざるものも相當の數に達すべし。

以上に及び又本公司は歐戰後鐵價の暴落と共に財政困難に陥り近く正金銀行と二百萬圓乃至五百萬圓の借款成立を見んとしつゝある現狀にして產出鑛石の大部分は我八幡製鐵所に又製銑も我製鐵所方面に供給しつゝあり、尙揚子江岸に於ける主要鐵山たる象鼻山桃沖山等の鐵礦は皆我國と特別の關係を有するもの多く鐵礦は大部分我國各地製鐵所の原料として供給され又揚子機器廠製の銑鐵も大部分我國へ輸送されつゝあり。

北支那に於ける鞍山及本溪湖兩製鐵所は前者は滿鐵經營にして後者は日支合辦なり其他山東に於ける金嶺鎮鐵山は山東引渡後日支合辦の成立を見んとしつゝあり。

斯の如く支那の主要鐵山及製鐵所は殆ど我近接區域内に在りて我國製鐵の原料として供給されつゝあり是日支兩國の經濟的提携にして日支の福祉と云ふべし。元來製鐵事業は巨額の資金と相當熟練せる技術者を擁して遠大なる目的の下に經營さるべきものなり、然るに支那は全國到處鐵山を有し乍ら開發し得ず製鐵所は現在以上勃興するの餘裕なきが如く又自國經營の現存鐵山製鐵所が悉く常に財政窮乏を告げ經營困難なる理由は政變日に次ぎ内政宜しきを得ず内亂絶えず財政を經營するの能力あるもの少く資金も豊富ならず、技術方面より云ふも未だ熟練せる技術者に乏しく常に經營困難なる理にして今後支那鐵業の盛衰は一に日本の經濟的或は技術的援助に懸るものと云ふを得べし此の方面の日支提携は眞に兩國の發展上肝要なる事なり。

漢治萍公司の如き多年の懸案となれる日支合辦の實を見ば同公司舊來の窮地より脱するを得るのみならず今後益々發展の域に進む事疑ふの餘地なき事と信ず。

要之支那は鐵產出國なるに拘らず毎年外國より巨額の鐵類を輸入しつゝあるは製鐵業の極めて幼稚なるを示すものにして之が發展を期せんには日支の提携を以てせんば非ず。

### ● 獨逸鐵鋼業

戰前獨逸は銑鐵の純輸出ありしも戰後は

平常期に於ても其純輸入國となれり、故に被占領地及ルール地方の銑鐵生產の減少殊に同地方より原料鐵及半製鐵の非占領地方向輸送杜絕は獨逸鐵鋼業の大打擊なり、加之ルール地方の炭鐵產額は種々の原因にて著しく減少せり、殆どルール

產石炭及コークスに依りて立ちたる獨逸鐵鋼業は其燃料供給地を遮断せられたる爲、之を國外就中英國より輸入するに至れり、銑鐵及半製鋼亦瑞典及致須より輸入す、是其生産費を高め世界市場に於ける競争を困難ならしむる所以なり、加之馬克價值昂騰するときは更に不利なる位置に置かるべく夫丈英米其他に輸出の機會を與ふるものなり。

● 埃國製鐵業 埃國は年產額約三千萬キンタルの鐵礦石を有し其大部分はスチンネス一派の支配するアルビン・モンタン會社の有に屬す、戰後埃國製鐵業は燃料缺乏の爲一時休業の有様なりしがスチンネス一派が前記アルビン・モンタン會社を其手中に收むるに至り再び稍々活氣を呈し來れり、埃國產鐵礦の大部分は製鋼用にして鑄鐵製造用鐵石の產出は極めて少量なり、一九一三年に於ける埃國產鐵高を基礎として新國境に從ひ各繼承國の有に歸したる產鐵量を算出するときは略ぼ左表の如し。

國	六、〇五〇 千キンタル
英 國	八、七〇〇
法 國	一、七〇〇
德 國	一、一〇〇
俄 羅	五、五〇〇 千キンタル
荷 蘭	一、九〇〇
波 蘭	七〇〇
瑞 典	四〇〇
意 大 利	六〇〇

埃國內に於ける鐵及主なる鐵製品の產出量左の如し。

國	六、〇五〇 千キンタル
英 國	八、七〇〇
法 國	一、七〇〇
德 國	一、一〇〇
俄 羅	五、五〇〇 千キンタル
荷 蘭	一、九〇〇
波 蘭	七〇〇
瑞 典	四〇〇
意 大 利	六〇〇

## 軌鐵及建築用鐵材

五〇〇

英國產鋼は其質優良にして主として前記アル・ピン・モンタ  
ン會社の製造に係る農具其他鐵製器具の製造は英國主要產業  
の一にして工場數約二百五十戰前の従業員は三萬乃至四萬人  
に達せり、機關車車輛及自動車製造も相當盛にして機關車の  
製造に從事する工場四其製造能力年約四百箇車輛の製造工場  
二其製造能力年約五千箇自動車製造工場九其製造能力年約二  
萬五千臺なり。

### ○英國鐵鋼商況 (四月二十八日在倫敦總領事代理市河彦太郎報告)

佛國ルール占領に伴ひ英國鐵鋼業に及ぼしたる活況及其反  
動に就ては既報の通りなるが本月に入りては果してルール問  
題の停滯と一時的人氣の後を受けて反動的に市況稍々靜穩市  
價を煽るが如き狂奔的材料消滅せり然れども各地とも前月來  
の先註文消化の爲作業依然繁忙を持続せり、殊に最近コーグ  
スに對する需要過多と其市價騰貴及銑鐵產額は昨年に比し各  
月約七萬噸の増加なりと雖も在荷勘定爲價格騰貴し米國品の  
輸入を見又所有者の再賣を促すが如き有様に在り旁々大陸方  
面よりの鐵鋼半製品の輸入激減等あり諸材料市價依然上向を  
維持し居るを以て製造者側に於ては生産費の豫測つかず大陸  
筋註文依然入市し殊に日本を主とする東洋方面よりの商談勘  
からざりしも市價折合はず諸材料騰貴の爲一二週間の先物契  
約と雖新規商談を回避し居れり、尙製造商側にてはルール問  
題解決するも同地方の經濟狀態の回復には尙時日を要すとし  
今日の好況は當分持續せらるべしと豫測しつゝあるも一方需  
要者側に於ては大陸の政治的不安状態も今日以上には困亂す  
ることなかるべく一時的に作業を中止せる大陸諸工場も遠か

らず回復すべければ從て市價亦漸落すべしと觀測し多少註文  
手控中に在るを以て今回のルール占領による好況も二月末を  
天井とし最早緊強の度を失ひたるものと見るを至當とすべし  
三月中主要製品の市價を見るに左の如し。

### 三月中鐵鋼主要製品價格 (F.O.B.)

品目	月		
	磅	志	片
タンクプレート	英國品	九〇〇五〇	一〇・五〇
	大陸品	八・一七八	九・一〇
シ・エ・ブラツクシート	英國品	一八・一五〇	二〇・一五〇
	大陸品	一九・〇〇〇	二一・〇〇〇
ガルヴィアナイズドマイル	大陸品	二六・一〇〇	二六・一〇〇
ガルヴィコラゲーテットシート	英國品	二八・〇〇〇	二八・〇〇〇
マイルドスチールバー	大陸品	一〇・一〇〇	一二・〇〇〇
マイルドスチールドマイル	英國品	九・〇〇〇	九・一〇〇
マイルドスチールアン	大陸品	九・一七・六	九・一五・〇
ダル及チヤンネル類	英國品	八・一七・六	九・〇〇〇
スチールレール(六尺以上封)	大陸品	九・〇五・〇	一〇・〇〇〇
スチールレール(ライト)	英國品	九・〇五・〇	九・〇五・〇
ソフトシーメンス	大陸品	九・〇五・〇	九・〇五・〇
ライヤーロッド	英國品	一〇・一〇〇	一〇・一〇〇
ブルクゼン	大陸品	一	一〇・一五〇

### ○米國軌條輸出狀況 (五月十日在シカゴ副領事吉田丹一郎報告)

戰前に於ては世界各國中鐵道軌條の輸出國として獨逸第一  
位を占め英國之に亞ギ米國第三位を占めたるに戰時中及戰後  
に於ては英獨兩國は其生產能率を著しく減縮したる結果現今  
に於ては戰前各製產國輸出總額の七割以上を米國より供給す  
る盛況なり。

戰後に於ける獨逸國內の產業不振及工業組織の頽廢は茲數



に於ける産業の前途が如何に光明に富むかを暗示するものと稱し得べし。

一九二二年中に於て各種製造工業中製產率最顯著にして最高記録を示したるものは自動車製造業及建築業なり。

全國に於て精鍊產出されたる鋼每百封度に對する前二者の需要高は二十二封度半を占め居れる實例に徴するも自動車製造業及建築業が如何に米國産業界に重要な地位を占め且又將來に於ける製鐵及製鋼事業の進運發達に多大の關係あるかを推知するに足るべし。一九二二年中の建築界の大勢に關しアイオン・ツレード誌上の發表に依れば同年中の建築契約總高は五十億弗に達したるが關係當事者の觀測に依れば一九二三年中は少くとも六十億弗以上に達すべき見込なりと云ふ。

一九二二年中米國中西部以東二十七州に於ける建築契約總面積は五億七千四百四十七萬六千平方呎にして此等諸州の契約高は全國の約四分の三を占むる盛況なり、而して右契約總高は一九一九年の最高記録たる五億六千十九萬六千平方呎に比し二分五厘の増加前年即ち一九二一年に比するときは四割八分の増加なり。右の内住宅用建築物は全契約高に比し五割五分即ち三億千三十九萬三千平方呎に達し之を一九一八年の同建築面積に比すれば四割前年即ち一九二一年に比すれば八割三分の増加を示せり。前述の如く最近建築業が各方面に亘り著しき激増を示すに至りたるは新規事業發展の機運を促進しつゝあるを反影するものにして更に之に依り一九二三年に於ける各種產業の勃興を豫測し得るに難からず。

更に又一九二二年中の自動車製造業の大勢を通觀するに乘用及運搬用自動車の製產高は總計二百五十七萬七千臺にして

之を一九二一年の乗用車一、四三五、一六一臺及商業用一四七、〇〇九臺合計一、五八二、一七〇臺に比すれば六割二分増又在來の最高記録たる一九二〇年の二百二十萬五千臺に比すれば三十七萬二千臺即ち一割九分の増加を示せり。一九二二年末日現在の米國自動車登錄總數は千二百三十五萬七千臺にして全人口に對する八人七が各一臺の自動車を所有する割合に當れり一九二三年中新規取替を要すべき自動車數は百八十萬臺を下らざる見込なりと云ふ。

全國自動車製造會社即ち九十の乗用製造會社及八十の運搬用製造會社の製產高を最近各半期毎に比較せる統計を擧げば左の如し。

種別	乗用自動車數量	運搬用自動車數量
一九二一年後半期	七八九、四一四	六八、六三四
一九二二年前半期	一、〇三六、四九七	一一四、四八六
一九二三年後半期	一、二九七、六七四	一二八、五六三

更に鐵道材料に付調查するに一九二二年中鐵道會社の購入したる各種車輛數は十八萬臺以上に達したるが之を前年に比較すれば實に八倍以上の増加なり、其結果關係工場に於ては本年は前年に倍する新規作業目論見書に基き製產能率の増加に努むる爲苦心を重ねつゝある現狀なれば將來の發展は眞に刮目に値すべし。

米國製鋼會社の引受註文未成數量は各種原料の充實及配置貨車數の増加に伴ひ荷捌け抄取り居れるを以て本年は製產能率五割以上を増加すべき見込なりと云ふ。

れば今尙五割五分九厘高なり。

一九二二年中のスペリオ湖鐵鑛區域内より搬出せられたる鐵鑛產出高は不振を極めたる前年に比し九割三分増なるも之を最近十箇年間の產出平均年額に比し今尙一割二分減なり。

然るに一九二三年初期の各製鐵所の活動に徴するときは本年は前年に比し二割二分即ち五百萬噸以上の増加を見るべしと觀測せらる。

一九二一年九月二十二日以降一九二二年十月末日至る銑鐵の輸入總高は一二〇、七七九噸にして内主要輸出國及數量は英國より五六、五三六噸スコットランド二八、七一五噸白耳義一五、七七七噸佛蘭西一七、〇一七噸なり、同期中フェロ満俺の輸入高は一一、一二九噸にして内英國よりの輸入大部分を占む又同期中満俺鑛石二二、五二三噸を輸入せり。

一九二二年十月に終る過去十箇月間に鐵の總輸入高は二二九、九五〇噸なり。

一九二二年中に於ける鐵及鋼鐵の輸出總高は二、〇一一、二七六噸に達したるが同年十二月中の輸出高は前月に比し一割八分増即ち一五一、四七四噸に上れり。

輸出品の主要なるものは軌條鋼鐵板鐵及鋼鐵鉢鐵線汽罐チユーブ鐵管建築用材針金亞鉛板鐵及鋼鐵鉢鐵板等なり。其他各種の器具機械類の輸出は二七、一九一臺に上りたるが之を前年と比較すれば種類に格別の變動なきも其總高は増加を示し居れり。

一九二二年中に於ける骸炭製產高はビーハイヴ・コークス

八百三萬三千實噸副產コークス二千八百四十九萬三千實噸總計三千六百五十二萬六千實噸なり。一九二二年中コークス生

產操業に依り生ずる主要副產物はタル即ち烟脂三億六千五百ガロン、アンモニア九億四千六百萬封度原輕油一億千五百ガロン、瓦斯四千四百七十億立方呎なり。

#### ●米國銑鐵生產狀況（五月九日在シカゴ副領事吉田丹一郎報告）

本年三月中の米國內銑鐵產出高は三百五十二萬三千五百九十五噸に達し從來の記錄を破りたりと稱せられたるものなるが四月に至りては更に多額を生産し三百五十四萬七千十二噸を算し以て銑鐵生產高の新記錄を作りたり。即ち三月中の生產高に比し二萬三千四百十七噸の増加にして前年四月中に比し實に百四十七萬六千三百五十一噸多く更に前々年即ち一九二一年四月中に比し二百三十五萬六千二百六十一噸の多量又一九二一年四月中の生產高は本年四月中の產額に比し僅に三割三分強に過ぎざる有様なり過去三箇年間に於ける銑鐵產額月別左の如し。

月別	一九二三年	一九二二年	一九二一年
一月	三、二二八、二二六	一、六四五、八〇四	二、四一四、七五三
二月	二、九九三、五一八	一、六三〇、一八〇	一、九二九、三九四
三月	三、五二三、五九五	二、〇三五、九〇八	一、五九四、八六六
四月	三、五四七、〇一二	二、〇七〇、一六一	一、一九〇、七五一
計	一三、二九二、七五一	七、三八二、〇五三	七、一二九、七六四

斯の如き製鐵業隆盛の原因に關しては種々の説あれども一は近時著しく活氣を示せる建築增加に伴ふ之が材料の註文殺到せると一方貨車鐵路並自動車材料の需要增加に依るは明なるが如く且歐洲方面よりの註文も相當多額なる旨傳へられつゝあり。

#### ●米國商況

（六月二十日在紐育西商務官來電）  
銑鐵は西部賣行好況にて六月需要五月の四倍と豫想せら

る、價格不變、五月中生産約三百八十七萬噸。

鋼は労働者の郊外及農業方面に赴くと暑氣に向ふとの爲生産率徐々に減少、目下九十一%にして鐵道方面需要盛なり。

#### ◎鋼鐵輸入稅引上陳情

製鐵業者は去月廿日日本工業俱樂部に於て懇話會を開き鋼鐵の輸入稅引上げ及製鐵業者と八幡製鐵所との聯絡に關する件其他に就て協議した、鋼鐵の輸入稅引上げは財政經濟調査會の一部に銑鐵輸入稅引上を唱へて居るものあるに鑑み此際銑鐵と共に鋼鐵の輸入稅引上げを實行して貰ひたいと云ふのである、即ち財政經濟調査會に於ける銑鐵輸入稅引上說は現在銑鐵が一噸に付一圓三十八錢の輸入稅を課せられつゝあるも當業者今後の保護獎勵上更に引上げて從價の約一割位即ち現在市價四十五圓位なれば一噸に付四圓五十錢位にすべしと云ふのであるが製鐵業者は現在鋼鐵の輸入稅が從價一割五分で生産費百十五圓に達する國內產鋼鐵の市價を脅かす所多大であるから此際一噸に付廿三圓位即ち從價の二割五分見當の輸入稅に引上げて貰ひたいと云ふ事に決定し近く財政經濟調査會に陳情する筈である。

#### ◎龍煙公司成立

新に直隸省管下に組織せられたる鐵礦龍煙公司は去月十二日午後天津の金城銀行で株主總會を開き役員を選舉したが、董事には徐世昌氏の息徐元直、黎元洪、吳毓麟、傅良佐、陸宋興、李泰氏等が當選し監査役には曹汝霖氏が擧げられた、その後曹汝霖氏宅で董事會開催の結果、吳毓麟氏を董事長に推し吳氏は同日天津に於て重役會を開き、總本店を北京から天津に移すとに決定した、該公司は資本金五百萬元で本年十一月開掘し一日の採出二百噸の見込であるが支那全部一日の消費高は百噸に達せぬ爲、殘餘の捌

け口は日本に求める所とし、その契約手附金を受けることは差支へないが日本から借款する事や技師の傭入れはせぬこと、決定した。

#### ◎鞍山製鐵所擴張計畫

滿鐵は鞍山製鐵所に對し三ヶ年繼續事業として新資金一千百萬圓を投じ設備改善の上大量生産に依て生産費の低下を圖る事に略内定した、元來鞍山製鐵所は創設當時が戰時好況中で殊に鐵價暴騰時であつた爲め大なる利益を擧げたが、休戰後の鐵界不況で生産費高の製品安で現在の所滿鐵經營に係る營利事業中損失の最も大なるものであるだけに其善後策は野村社長時代からの一懸案となつて居たもので故早川社長なども就任勿々此點に關し大に調査を要すとして特に米國から地質學、採礦冶金學のオーソリチーを招きて調査せしむる所があつた、川村現社長も就任と同時に之が根本解決をなすべく技術審査委員會に附議し目下分科會の手で部分的の調査中であるが、尙近く大河内、俵兩工學博士實地調査の結果を俟つて最後の決定をなす筈である、川村社長の意嚮としては鞍山製鐵所生産費が本溪湖製鐵所に次ぐ低廉なものなれど鞍山原礦石の鐵含有量多きものは今後五六六年の操業に耐ふるに過ぎず、他は含有量少きを以て之を技術的に改良し礦石の劣悪を補ひ、同時に大量生産に依り生産費の低下を期さねばならぬ、斯くすれば内地市場鐵價が今日以下に低落するとも尙ほ相當の利益を收むる事が出來るとの見地から既に操業休止中の鎔鑄爐一基（滿鐵鎔鑄爐は二百五十噸爐二基で一基は目下操業中）に對し現に操業中のものを同様還元焙燒の設備を施し進むて赤褐鐵礦選礦設備や骸炭製造所の改善並に原礦、石炭輸送を經濟的ならしむるために必

要線路の敷設をなすべく差當り以上の如く三ヶ年繼續事業の一一千百餘萬圓を支出する事に大體内定したのである、而して調査研究の結果に依つて更に該計畫を大計畫に變更するかも知れないと。

◎富士製鋼復活 富士製鋼會社は整理後同社所有の製鋼爐を淺野造船所に、機械器具を汽車製造會社に各其經營を委任し居るが、鋼材界が稍恢復したのに鑑み之を獨立經營に移し主として特殊鋼の製造を爲すべく過般來新資金の調達に腐心して居つた、幸ひ最近に至り某銀行が約五十萬圓を同社の爲に貸出すことに就て内諾し其條件に關する交渉も略纏まつたので近く右の計畫は實現するに至るべき見込である、而して右獨立經營の上は元製鐵所技師で現に小倉製鋼の專務たる末兼要氏が新に入社し専ら技術方面を擔任することに内定し居る由である、尙ほ當社今期の成績は七百餘圓の利益を計上したが、之を損失補填に繰入れ結局後期に百七十四萬千餘圓の損失を繰越し去月二十八日丸の内海上ビルディング商會堂に於て定時總會を開いて之を決定したる由なり。

◎製鐵所鉄力増産 八幡製鐵所では先般陸軍省の糧秣廠を始め阪神東京方面の鐵商人に對し鉄力の見本を送附し批判を求むると共に註文方を慾憲してゐたが、同所の目下の製產高は一箇月二萬噸内外で僅に自用高に過ぎないので、斯くては註文のあつた場合其の望を充たし得ないので、その短を補ふべく最新鉄力機械を英國に註文してゐた所該機械は既に英國を積出し本月到着することになつて該機械は一箇年三百萬噸の鉄力を製作し得る能率があるので到着の上は直に据附け一箇年二百萬噸乃至二百五十萬噸の鉄力板を製作する豫定

で、その上は十分内地の需要を満し得る豫定である。

◎銑鐵市況 銑鐵は印度よりの輸入數量や内地製鐵工場に於ける生産高等には差したる變化はないけれど久しく中止して居つた本溪湖が六月から熔鑄爐に火を入れて以來日產約百二十噸見當の銑鐵を出し既に内地市場に約二千噸位を輸入して居る模様であるから之が爲め市場在荷は過多と云ふ程の事でないとしても樂觀材料でない夫れに昨今鋼材相場の不味と一般機械工業が依然として不振の域を脱しない事や金融逼迫等各種の事情がある上に例年の不需要期に入つて居るから市況は段々ダレ氣味となつて來た併し東京市場に於ける唱へ相場としては輪西一號六十五圓兼二浦一號六十三圓見當と依然保合の情勢を持続して居る尤も實際の取引は其場合に依つて之れ以下に賣つて居る様である。

### ◎依會長の近情

本會々長俵博士は今回東京帝國大學工學部學長に任命せられたたり。